



広島大学大学院人間社会科学研究科
教職開発専攻
(教職大学院)

令和6年度



▶ 学校マネジメントコース ▶ 教育実践開発コース

GRADUATE SCHOOL OF HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES
PROFESSIONAL DEVELOPMENT PROGRAM FOR TEACHERS AND SCHOOL LEADERS

「より総合的で実践的な
プロフェッショナル」としての
教員を目指して。



広島大学大学院人間社会科学研究所
教職開発専攻長

大後戸 一樹

教職大学院は、高度専門職業人養成としての教員養成に特化した専門職大学院として、社会の大きな変化や複雑・多様化する学校教育課題に対応し得る高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた力量ある教員の養成を目的としています。

広島大学大学院人間社会科学研究所の教職開発専攻（教職大学院）では、「探究・創造・協働の学び」を追求する新しい学校づくりを担う「より総合的で実践的なプロフェッショナル」としての教員の養成を目指し、理論と実践を往還したカリキュラムを通して、学校や地域社会の課題解決に貢献できる優れた実践的対応力と実践研究力を育成します。

本専攻には、下記に示すような4つの特徴があり、教育現場と長年多岐に渡って連携をしてきた実績と、国際的に開かれた総合研究大学という特徴を活かし、理論と実践を往還した深い学びが期待できます。また、2つのコースがあり、学校マネジメントコースでは、新しい学校づくりを牽引し指導的な役割を果たし得るスクールリーダーの育成を、教育実践開発コースでは、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員並びに学校において指導的役割を果たすミドルリーダーの育成を目的としています。

広島大学の教職開発専攻（教職大学院）で、「より総合的で実践的なプロフェッショナル」としての教員を目指しましょう。

本専攻の4つの特徴

1 2つのコースが育む 実践的な指導を備えた教員像

「学びのポートフォリオ」の作成や2コース合同での研究発表会、コース共通科目等を通じ、多様な学びを提供します。また、各教育委員会等の関係機関と連携し、4期に渡り50日間の実地研究を行い、実践的な指導力を身につけます。



2 学校現場が直面する 諸課題の理解を深める科目群

社会に対応する「新しい学び」(主体的・対話的で深い学びやICTなど)のあり方や教育相談・生徒指導上の諸課題、「チーム学校」の一員として協働するためのマネジメントなど、学校現場が直面する諸課題への実践的対応力を総合的に身につけます。



3 「トライアングル型体制」による 細やかで丁寧な指導

研究者教員、実務家教員、メンターが連携・運動し、形式知に基づく指導、実践知に基づく指導、実際の現場での実践的指導を展開します。学校現場で活躍できる「総合的で実践的なプロフェッショナル」養成のためのきめ細やかな指導を行います。



4 多彩な国際的ネットワークを生かした 学際的な教育・研究活動

アメリカ現地校で授業実践を行う「海外教育実地研究」をはじめ、教員の有する海外の教育・研究機関との幅広いネットワークを活かして教育現場の視察や学会へ参加するなど、SGUならではの多様な経験を積むことができます。

※SGU: Super Global University



これからの学校づくりを牽引するスクールリーダーを育成

学校マネジメントコース

■ コースが目指す教員像

学校マネジメントコース（現職教員対象）では、学校づくり、理論づくり、自分づくりの3つの視点から、これからの学校づくりを牽引するマネジメント力を備えたスクールリーダー（学校管理職や教育行政職）の育成を目指します。

■ 学びの特徴

少人数のゼミ形式で
徹底した学びを追求できる
必修科目群

自らの研究テーマを設定し、関連する文献の精読や考察、指導教員・研究室メンバーとの討議を通じてマネジメントに関する理解を深めていきます。

実習校との連携協働による
トライアングル型指導で
ニーズに応じた指導を実現

研究発表会に教育委員会指導主事、学校管理職にも出席をおこなうなど、自身の研究について理論と実践の双方の観点から指導を受けられる機会が充実しています。

教育委員会・連携協力校での
教育行政・学校経営を経験

教育委員会において実際に教育行政職の実務を体験したり、実地研究校において校長職務のシャドウイング（密着研修）を経験したりすることで視座を高めます。



■ 学びのプロセス

	ねらい	理論・コンセプトの構築	省察	実践・経験
1年前期	これからの学校づくりを見据えた研究テーマの設定	共通科目/コース選択科目 基礎知識の習得	アクションリサーチ・セミナーI テーマ設定	アクションリサーチ実地研究I 教育行政実務 教育委員会において職員をメンターとして10日間の教育行政の実務を経験します。
1年後期	実習を通じた自己の使命感の向上と理論構築	共通科目/コース選択科目 自らの理論（仮説）の構想	アクションリサーチ・セミナーII アクションリサーチの計画	アクションリサーチ実地研究II 学校管理職実務 校長の職務について10日間の密着研修を行います。
2年前期	スクールリーダーの視点からの学校づくりの模索	共通科目/コース選択科目 自らの理論（仮説）の検証・再構築	アクションリサーチ・セミナーIII 学校づくり・学校改善の実践	アクションリサーチ実地研究III・IV 学校改善のための学校マネジメントの実践 所属校の校長をメンターとして、院生は所属校において、「セミナーII」で作成したアクションプランをもとに新しい学校づくりを追求します。管理職や同僚の理解・協力を得ながら「探究・創造・協働の学び」を促進するマネジメント力を育成します。
2年後期	2年間におよぶ学校と自分のミッションの追求の総括	共通科目/コース選択科目 自らの理論の構築「課題研究報告書」	アクションリサーチ・セミナーIV 総括的な評価・改善	

新しい学校づくりの有力な一員となる新人教員、学校づくりの中心となるミドルリーダーを育成

教育実践開発コース



■ コースが目指す教員像

教育実践開発コース（学部卒学生および現職教員対象）では、新しい学びや諸課題に対応した授業実践とその理論的な省察を通して、理論に基づいた確かな実践力をそなえた新人教員及びミドルリーダーの育成を目指します。

■ 学びの特徴

学部卒学生と 現職教員学生が交わる 協働の学びの場

教育実践開発コースでは学部卒学生と現職教員学生が院生生活を共にします。講義内や院生室での双方の視点からの活発な交流が、新たな気づきや深い学びを促します。



学校現場の フィールド理解に基づいた 実践力・対応力の育成

指導する全教員は教職等の経験を有するか、長らく学校現場と協同しています。理論と実践の往還を自らも目指す教授陣から学校現場と乖離しない実践力・対応力を学べます。



トライアングル型指導体制 （大学教員2名+メンター） による高度な実践力の育成

実地研究校における4回のアクションリサーチ（AR）のそれぞれで理論に基づいた実践を展開。確かな専門性に基づいた高度な教育実践力を身につけることができます。



■ 学びのプロセス

	ねらい	理論・コンセプトの構築	省察	実践・経験
1年	現代的教育課題への意識を持ったテーマの設定	共通科目/コース選択科目 基礎知識の習得	アクションリサーチ・セミナーI 実態把握とテーマの立案	アクションリサーチ実地研究I 実態把握と実践計画 ARセミナーで学んだ知識や理論に基づいて児童・生徒の実態を把握し実践計画を立て、実行します。
		共通科目/コース選択科目 自らの理論（仮説）の構築	アクションリサーチ・セミナーII テーマにそった授業実践の計画	アクションリサーチ実地研究II 実態に即した授業実践 AR実地研究Iで把握した実態に基づき、テーマに沿った授業実践を試行します。
2年	理論に基づいた授業づくり・改善を通じた授業実践研究力の育成	共通科目/コース選択科目 自らの理論（仮説）の検証・再構築	アクションリサーチ・セミナーIII 課題意識と理論に基づく授業研究	アクションリサーチ実地研究III・IV 理論と実践の往還を通じた授業づくり・授業改善 学部卒院生は実地研究校、現職教員院生は所属校において、PDCAサイクルに基づいた授業づくり・改善を繰り返します。4期におよぶAR実地研究での授業実践研究を通じて課題対応力・実践力を育成します。
		共通科目/コース選択科目 自らの理論の構築「課題研究報告書」	アクションリサーチ・セミナーIV 授業実践・改善を元にした理論構築・総合考察	

学生からのメッセージ



学校マネジメントコース
2022年度入学生

中原 宏美
現職教員学生

私は、学校マネジメントについて学び、新しいものの見方や考え方で自分を省察するとともに、スクールリーダーとしてのぶれない軸をつくりたいと思い入学しました。現在、『主体的に学ぶ児童』が育つカリキュラム・マネジメントに関する研究-学びの深さ(学力・学習の質)に着目して-」をテーマに研究を進めています。ここでは、私が感じている教職大学院の魅力を2つお伝えします。1つ目は、大学の先生方との議論を交わすセミナーや教育行政・学校管理職実務を学ぶ実地研究です。これらの経験を通して、学校づくりの主体として自覚が高まったことを感じています。2つ目は、様々な立場や考えをもった人たちとの出会いです。そのような人たちとの対話は、自分の頭で考えること・自分の理論をつくることの難しさや楽しさの実感へとつながっています。今後も、学校づくりを通して理論と実践を往還し自分を省察することで、スクールリーダーとしての自分づくりを進めていきたいと思っています。



教育実践開発コース
2022年度入学生

小川 大輔
現職教員学生

私は、中学校教員として、授業実践を積み重ねてきました。そのなかで、自分の授業の質を一層高めたいと思い、教職大学院に入学しました。しかし、入学してみると、ここが授業の質を高めるための方法論を学ぶだけの場所ではないことに気づきました。多様な校種・教科の大学教員や院生との議論、国際バカロレアやイエナプランなどの先進的な教育を実践している学校の視察、大学図書館での先行研究の調査等、大学院での研究生活をとおして導かれるのは、教育とは何か、学ぶとは何か-そのような根本的で本質的な問いでした。そのような問いに明確な正解はないのかもしれませんが、そうした問いを考えることが、私の当初の関心であった自分の授業の質を高めることにもつながっていることを実感しています。教職大学院は、実践的な研究をする大学院として位置づけられていますが、同時に、その根っこにある教育哲学を深めていく場でもあると思います。



教育実践開発コース
2022年度入学生

藤本 芙沙子
学部卒学生

「このまま教壇に立つてよいのだろうか。」教育実習を終えて感じたこの不安を少しでも解消したいと思い、教職大学院の受験を決めました。実地研究では、分かりやすく楽しい授業を目指すことはもちろんですが、同時に研究の一部であるという意識も大切です。実地研究先や大学の先生からアドバイスを頂きながら授業計画を立て、実践と省察を繰り返しながら深めていきます。目の前の子どもたちと向き合うだけで精一杯だった教育実習とは違う「教育の奥深さ」を日々実感しています。様々な人に助けて頂きながら授業づくりを積み重ねているうちに、子どもたちと関わる自分が明確にイメージできるようになったと思います。今では、教壇に立つことへの不安よりも、楽しみの方が大きくなっています。かつての私のように教員になることに不安を感じている方、ぜひ一緒に教職大学院で学びましょう。

専任教員紹介



教授
学習評価論、
体育科教育
大後戸 一樹



教授
授業分析論、
理科教育
木下 博義



教授
教育方法学、
道徳教育
鈴木 由美子



教授
教科教育学、
社会科教育
永田 忠道



教授
授業構成論、
学習指導論、
算数科教育
松浦 武人



教授
教科教育学、
国語教育
松本 仁志



教授
道徳教育、
教育課程論
宮里 智恵



准教授
教科教育学、
美術教育
池田 吏志



准教授
家庭科教育学、
保育学
伊藤 優



准教授
教師教育学、
教育哲学
岡村 美由規



准教授
学校経営の実践的研究、
地域教育経営論、
教員研修
杉原 満治



准教授
教科教育学、
音楽教育、
音楽表現
寺内 大輔



准教授
生徒指導、
学級経営方法論、
教育実践学
中島 敦夫



准教授
学級経営方法論、
教育実践学
藤川 照彦



准教授
学校経営の実践的研究、
地域教育経営論、
教員研修
米谷 剛



講師
教育心理学、
対人スキル指導
高橋 均



講師
学校心理学、
教育相談・生徒指導
山崎 茜

教職大学院では、掲載されている専任教員以外にも、人間社会科学研究科教育科学専攻の教員や客員教員など、豊富な教授陣が連携して指導にあたります。

授業科目

コース区分	学校マネジメントコース	教育実践開発コース	単位
大学院共通科目	「持続可能な発展科目」から1単位、「キャリア開発・データリテラシー科目」から1単位		2
研究科共通科目	「人間社会科学特別講義」または「平和教育の構築への実践的アプローチ」からいずれか2単位		2
コース 共通科目 ※1	教育課程の編成・実施に関する領域 教科等の実践的な指導方法に関する領域 生徒指導・教育相談に関する領域 学校経営・学級経営に関する領域 学校教育と教員のあり方に関する領域	■教育課程開発の実践と評価 ■論理的思考教育の開発実践 ■マイクロティーチングの実践 ■通教科的能力育成の授業開発と実践 ■授業研究の開発実践(ICTを含む) ■道徳・人間関係教育領域の開発実践 ■幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む) ■教育相談・カウンセリングの理論と実践 ■学級経営の理論と実践 ■学校経営の理論と実践(地域とともにある学校を含む) ■現代教師教育の理論と実践 ■現代の教育改革	20
コース 選択科目 ※2	■学校の経営戦略と評価 ■教職員の人材育成 ■地域教育経営の理論と実践 ■カリキュラムマネジメントの理論と実践 ■教育行政の理論と実践 ■教育法規の実践演習 ■学校の危機管理 ■学校経営・行政フィールド調査	■教科横断的授業デザインと授業分析 ■発達支援と幼児児童生徒理解 ■学校における教育相談 ■授業開発と評価(基礎) ■授業開発と評価(応用) ■授業開発と評価(発展) ■授業開発と評価(開発) ■異校種連携接続の実践開発 ■教員のキャリア形成支援の理論と実践 ■総合教育実践演習 ■先進的授業研究の理論と実践 ■海外教育実地研究 ■学校インターンシップ ■ユニバーサルマインドの授業開発 ■グローバルマインドの授業開発 ■教育実践研究の技法(校内研修を含む)	11以上
コース 必修科目	アクションリサーチ・セミナー I・II・III・IV		4
学校における 実習科目	アクションリサーチ実地研究 I(教育行政職実務)・II(学校管理職実務)・III・IV(所属校実習)	アクションリサーチ実地研究I・II・III・IV	10
			計49単位

※1 ●各科目2単位 ●学校マネジメントコースは、これまでの教職経験や研修歴等を考慮した上で、共通科目20単位のうち6単位まで、コースの選択科目の単位を共通科目の単位として充てることができます。
 ※2 ●「学校経営・行政フィールド調査」は1単位、他の科目は2単位 ●現職教員学生は、個々の院生のニーズに応じて、他コースの選択科目もコース選択科目として履修できます。

取得できる教員免許状

幼稚園教諭専修免許状	小学校教諭専修免許状
中学校教諭専修免許状 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、 保健体育、保健、技術、家庭、英語	高等学校教諭専修免許状 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、 美術、書道、保健体育、保健、家庭、情報、 農業、工業、商業、英語
学校心理士受験資格 取得可能	

※入学時において、一種免許状を有している必要があります。

修了後の進路

- ▶ 学校マネジメントコース
(令和5年4月現在:全21名中)
校長 2名 教頭 7名 主幹教諭 3名 教育行政職 3名
- ▶ 教育実践開発コース
(令和2年度～令和4年度:学部卒学生全63名中)
教員就職(保育士を含む) 60名
(保育園 1名 中学校 17名)
(小学校 31名 高等学校 11名)

教員就職率
(教員志望の修了生を対象)
100%

入学者選抜の概要

選抜区分	一般選抜	現職教員特別選抜
入学定員	30名	
コース名	教育実践開発コース	学校マネジメントコース / 教育実践開発コース
出願資格	次の①と②の要件を全て満たす必要があります。 ① 大学を卒業した者(当該年度の卒業見込を含む) ② 幼稚園、小学校、中学校及び 高等学校のいずれか1つ以上の 普通免許状を有する者 (当該年度の取得見込を含む)	次の①と②の要件を全て満たす必要があります。 ① 大学を卒業した者 ② 以下の教職経験を持つ者 <input type="checkbox"/> 学校マネジメントコース 教育委員会等の推薦を受けた者 <input type="checkbox"/> 教育実践開発コース 教職経験6年以上の者、または教育委員会の推薦を受けた者
選抜方法	書類審査/筆記試験(外国語、専門科目)/口述試験	書類審査/筆記試験(専門科目)/口述試験

※本表に記載されている内容は、令和5年度に実施した大学院入学者選抜の出願資格です。令和6年度に実施する入学者選抜(令和7年度入試)の情報は、最新の募集要項で確認してください。

お問い合わせ

広島大学大学院人間社会科学系研究科教育学系総合支援室(大学院課程担当) 〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1
 TEL:082-424-3706 FAX:082-424-7108 e-mail:kyoiku-in@office.hiroshima-u.ac.jp